

Press Information

2015年9月15日

見出し

航空機エンジン用部品の量産開始

～エアバス A320neo 用エンジン部品ファンケースライナーの長期供給で合意～

要旨

日機装株式会社の航空宇宙事業本部は、川崎重工業株式会社との間で、エアバス A320neo 用のエンジン部品であるCFRP製ファンケースライナーの長期供給で合意に達し、量産供給を開始することになりました。当社はこれまでエンジン周辺の逆噴射装置関連部品や主翼の部品などを中心にCFRP製の航空機部品を供給してきましたが、今回、ファンケースライナーの長期供給合意により、初めてエンジン本体の部品を供給することとなります。

ファンケースライナーの生産体制については、サプライチェーン最適化の観点などにより日本での製造が必要となることから、当面は静岡製作所の既存設備を活用して製造を継続し、増産のタイミングにあわせて、東村山製作所の一部を改築して生産を全面移管することを決定しました。

合意内容

今回の合意では、A320neo 用エンジン (PW1100G-JM) 用ファンケースの構成部品であるファンケースライナーについて、総生産数の 50% を長期に渡り供給する内容となっています。

生産体制

ファンケースライナーの生産については、部材調達、外注加工、供給先などのサプライチェーン最適化の観点などにより、日本での製造が必要になります。当面は、これまで試作などを行っていた静岡製作所において生産、供給を行いますが、将来的な生産量の増加が見込まれる中で、増産のための設備投資が必要となることから、安定的な供給体制を確保するために、東村山製作所の一部を改築したうえで、2017年を目途に生産を全面移管する予定です。

【今後のスケジュール】

- ・2015年11月 東村山製作所の改築工事着手
- ・2016年9月 改築工事・設備導入完了、ファンケース生産開始（静岡と並行生産）
- ・2017年中旬 生産移管完了

ファンケースライナー生産および東村山製作所への生産移管に伴う設備投資金額は、総額で約20億円と見込んでいます。

- ・建屋改築及び付帯設備 8億円
- ・生産設備 9億円
- ・移設費用等 3億円

航空宇宙事業の業績への影響

航空宇宙事業本部では、主力製品であるカスケードを中心に、エンジンナセルの逆噴射装置、主翼部分などにおいて様々な CFRP 製航空機部品の供給を行っていますが、このファンケースライナーの供給合意によって、事業規模の更なる拡大に寄与すると期待しています。

東村山製作所について

東村山製作所は、インダストリアル事業本部の国内主力拠点であり、各種ポンプ製品やシステム製品の開発・製造を行っていますが、現在、インダストリアル事業では、グローバルベースでの生産体制の再構築を行っており、クライオジェニックポンプの米国への移管、水質調整システムや電子部品製造装置のファブレス化などの施策を実施しています。また、キャンドモーターポンプについても、海外向け生産については、中国の製造子会社の活用や消費地に近い場所での組み立てを計画しており、東村山製作所の生産量は今後も減少していくことが見込まれていることから、将来見込まれる生産量に応じて工場規模を適正化することを決定して、現在、具体的な準備に取り掛かっています。

この規模適正化により製作所内に余剰なスペースが発生する他、従業員の再配置が必要となることが見込まれますが、航空宇宙事業本部のファンケースライナーの生産移管により、余剰スペースの有効利用や従業員の活用を行うものです。

以上

<補足説明>

- ※1 ファンケースライナー 航空機エンジンのファンケース内側に挿入される円筒状の金属接着部品で、ファンブレード飛散防止およびエンジン音の騒音低減効果があります。
- ※2 A320neo 今回製品を供給する A320neo はエアバス社の最新型旅客機で、すでに 4000 機以上の確定受注があり、2015 年から引き渡しが始まります。

本件に関するお問い合わせ先

日機装株式会社 経営企画部 企画第二グループ
TEL : 03-3443-3717 (直通)